



移住・定住推進事業

当初予算で計上した「移住応援給付金」が不足。

年度をまたぎ、7億2千265万円の増額補正が計上!!

★R6当初予算447人見込み→1,284人(11月末現在)

●令和5年度制度対象分

【4億8千845万円(178世帯分)追加】

●令和6年度制度対象分

【2億3千420万円(190世帯分)追加】

Q. 令和5年度制度対象の移住者数はいつ確定するのか。

A. 今年度末までには正確な数字が出せる予定。

Q. 見込みの「年間1,500人」を超えた場合、今後、さらに追加で増額補正されるのか。

A. 1月以降の増加分は、令和7年度予算で計上する。

【自由討議】移住者の受け皿となる施設や人員などの体制を考慮すると、移住応援給付金の上限を設けるべきでは。

今年度の目標移住者数を1500人と打ち出しているのであれば、目標人数に見合う給付金を当初予算に計上すべきでは。

【反対討議】今後、移住者の申請率がさらに上がり、補正予算への計上が続く可能性がある。市民アンケートでも批判する意見も見られる。予算設定を含め、事業を見直す必要があるため。

意見・要望

本事業は、事業開始から何度も追加の補正予算が計上されている。予算編成は、当初予算で完結するよう市民に分かりやすい予算組みの在り方を、市として研究するよう要望する。



学校給食センター施設整備事業

※緊急に対応した修繕料及び、備品購入費を補正

Q. 緊急の修繕とはどのようなものか。また、備品購入費の内訳は。

A. 空調設備の修繕。全6台のうち4台が故障し修繕が必要となった。
備品は、「消毒保管庫」と「牛乳保冷库」の購入。

Q. 空調設備の使用年数は。なぜ、取り換えではなく修繕対応なのか。

A. 空調は、開設当初(H20年)から使用。取り換えには「億」の費用が掛かる。
今回は、早急に修繕が必要だったことから、修繕料で対応した。

【自由討議】財政的負担を集中させないために、耐用年数等を考慮し、修繕や取り換えによる予算措置を計画的に行う必要があるのではないか。

子ども達に安心安全な給食を提供するためにも、耐用年数を遵守し、計画的に更新していく必要があるのではないか。

意見・要望

調理器具は、「16年(耐用年数6年)」も修理を重ねながら使用しており、子どもの口に入るものを調理するため、大変高価な器具だが、耐用年数を大幅に超えた使用は避け、長期の修理計画を立て、まとめて購入した器具や装置が、一度に修理・交換ということにならないよう要望する。



二巖寺橋への歩道橋設置に関する請願書

歩行者及び車両等の安心で安全な通行を確保するため、二巖寺橋に側道歩道橋を設置して欲しい。

※現状：通学路・生活道路として交通量も多いが、センターラインも無く、グリーンベルトで歩車道を分離。

Q. 架け替え、側道橋の増築、それぞれに係る工期や金額の算出は。

A. 定期的な橋梁点検では健全度は高い。架け替えのタイミングではない。

【反対討議】

橋に限らず、取り付け道路も一体的な整備が必要。

【賛成討議】

子供たちの命を守る観点から側道歩道橋は必要。



●請願者立会いの下、現地での調査を実施

意見・要望

事業化に当たっては、通行する方の安全確保のため、側道歩道橋の設置のみならず、取り付け道路までの一体的な整備を要望する。また、事業化されるまでの、安全確保に係る措置を早急に講じるよう要望する。

